

帳票コンポーネント

1. 概要

アプリケーションで扱う情報や画面そのものを印刷したい場合には『帳票』コンポーネントを用います。帳票コンポーネントを使えばアプリケーションで扱う情報や各部品の画面イメージの印刷レイアウトを編集して印刷することが可能です。

帳票コンポーネントをビルダーで追加する際のメニューは[コンポーネント追加]-[入出力]-[帳票]-[帳票]です。

2. 用途

帳票コンポーネントの用途は以下の通りです。

- 帳票を作成して印刷する場合に用いる
- アプリケーションで扱う情報や画面そのものを印刷する場合に用いる

3. ここで使用するイベントとメソッド

帳票コンポーネントから発生するイベントとこの文書内で使用するメソッドを次に示します。

- イベント
 - ・ 処理完了イベント

トリガ	対象データ	イベント番号
印刷実行(正常終了)	null(空)	1
印刷キャンセルあるいは指定プリンタが存在しない	null(空)	0
印刷実行(異常終了)	null(空)	-1

- メソッド

ここではこの文書内で使用するメソッドの一覧のみを示します。ここに記す以外にもメソッドがありますが、それらの情報が必要な場合はリファレンスや Javadoc ドキュメントを参照してください。

メソッド名	機能
印刷プレビュー画面を表示する (Component)	引数で指定したコンポーネントを親コンポーネントとして印刷プレビュー画面のダイアログを表示する
帳票を印刷する (boolean)	引数で印刷設定ダイアログの表示有無を指定して帳票の印刷を実行する

4. コンポーネント使用例

帳票コンポーネントのサンプルアプリケーションが“AP_DATA¥Sample¥”に収録されております。

ビルダーまたはローダーから“帳票_1.mzax”をロードし実行してください。図 1 はその実行画面を示しています。このアプリケーションは、テーブルコンポーネントおよびグラフコンポーネントのデータやイメージを帳票印刷するサンプルアプリケーションです。

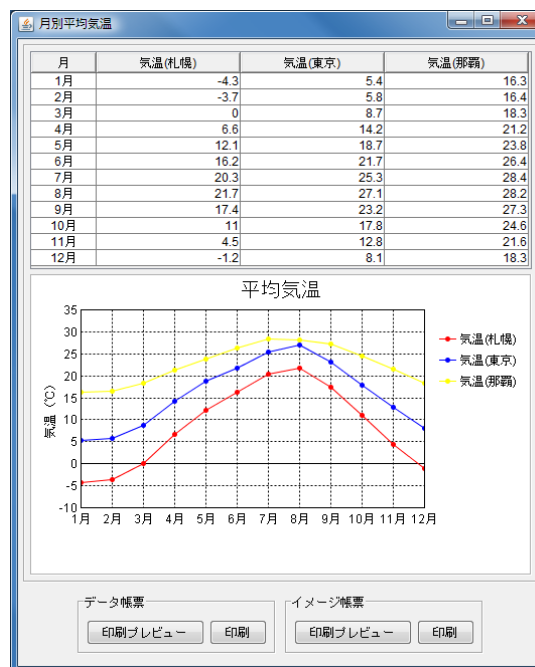


図 1 サンプルアプリケーションの実行画面

データ帳票パネル内の「印刷プレビュー」ボタンを押すと、札幌・東京・那覇の気温と降水量の帳票イメージを見ることができます。イメージ帳票パネ

ル内の「印刷プレビュー」ボタンを押すと、図 1 のテーブルコンポーネントおよびグラフコンポーネントの帳票イメージを見ることができます。



図 2 各帳票のプレビュー画面

帳票を印刷したい場合は、各パネル内の印刷ボタンまたは印刷プレビュー内にある印刷ボタンを押してください。印刷設定ダイアログが表示されますので、プリンタの設定や印刷の設定を行った後、印刷ボタンを押すと印刷が実行されます。

印刷プレビューボタン及び印刷ボタンの処理に関するビルダー上での記述は、図 3 に示すようにそれぞれ帳票コンポーネントのメソッドを一つ呼び出すだけの処理となります。

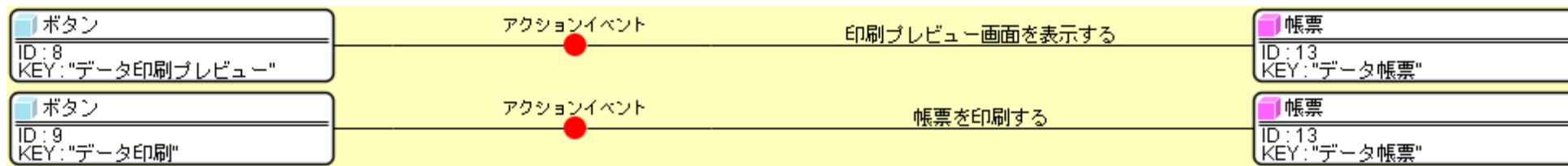


図 3 印刷プレビュー及び印刷ボタンの処理例

実際に行われる印刷のレイアウトは、ビルダーのメニューボタンの「帳票編集」ボタンで行います。詳細は「アプリケーションビルダー操作説明書」をご覧ください。

帳票コンポーネントでは複数ページの印刷や繰り返し印刷（流し込み印刷）もサポートしております。ビルダーまたはローダーから“帳票_2(複数ページ印刷).mzax”をロードし実行してください。図 4 はその実行画面を示しています。このアプリケーションは、テーブルデータからテーブルやバーコードイメージを帳票印刷するサンプルアプリケーションです。



図 4 サンプルアプリケーションの実行画面

「テーブル印刷プレビュー」ボタンを押すと、テーブルの帳票イメージを見ることができます。「バーコード印刷プレビュー」ボタンを押すと、バーコードの帳票イメージを見ることができます。

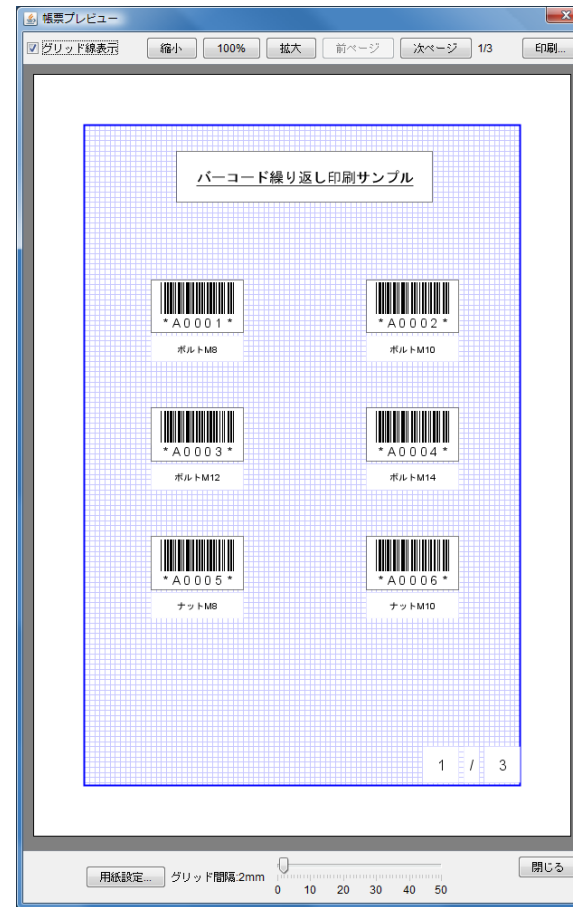
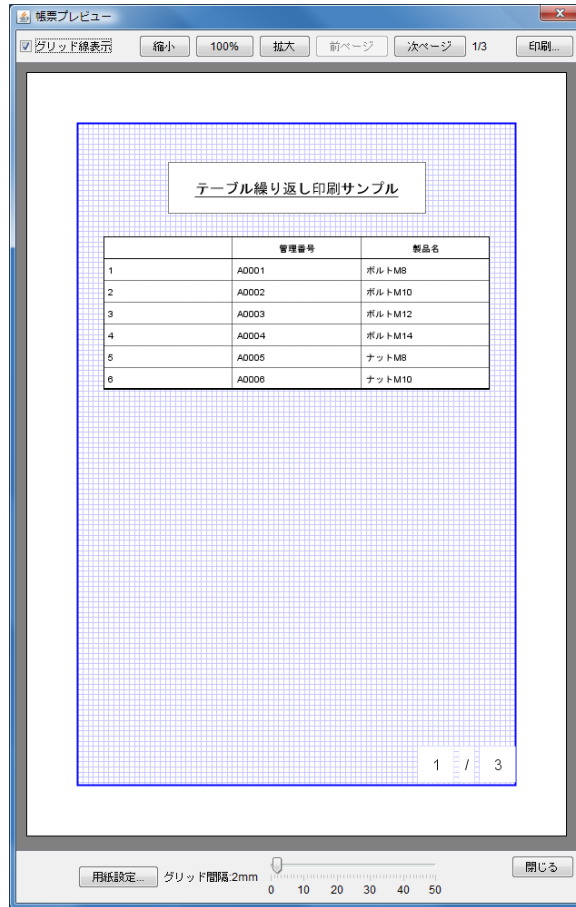


図 5 各帳票のプレビュー画面

テーブルの帳票の例では、各ページのテーブル要素が相互に連結され、図 4 のテーブルデータを上から順に流し込んでいます。また、最終ページのテーブルにデータが収まりきらない場合、そのページを印刷時に繰り返し印刷します。これらの機能が繰り返し印刷機能です。繰り返し印刷機能の設定は、帳票編集モードで行います。図 6 の左図に示すように、帳票編集モードにおいてテーブル要素上でマウス右クリックし「テーブル描画属性設定...」を選択します。すると図 6 の右図に示すように、テーブル描画設定ダイアログが表示されますので、「繰り返し印刷」をチェックし、表示行数を入力してください。このように設定された 1 つの帳票内のすべてのテーブル要素は同一のテーブルデータを参照することになります。

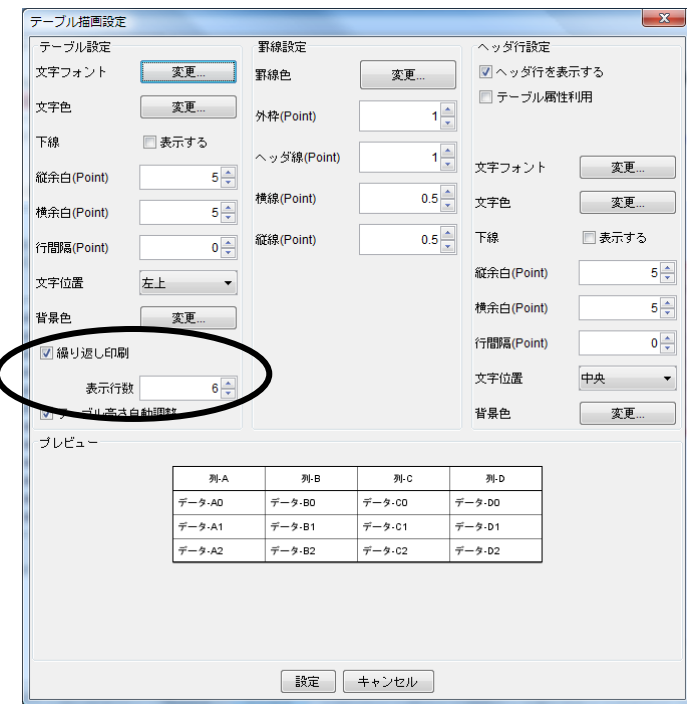


図 6 繰り返し印刷設定 (テーブル要素)

バーコードの帳票の例では、各ページのバーコードおよびラベル要素がそれぞれ連結され、図 4 のテーブルデータの指定列のセルの値を上から順に流し込んでいます。また、最終ページのバーコードおよびラベルにデータが収まりきらない場合、そのページを印刷時に繰り返し印刷します。この機能の設定は、テーブルの場合と同様に帳票編集モードで行います。図 7 の左図に示すように、帳票編集モードにおいてバーコード要素上でマウス右クリックし「バーコード描画属性設定...」を選択します。すると図 7 の右図に示すように、バーコード描画設定ダイアログが表示されますので、「繰り返し印刷」をチェックします。

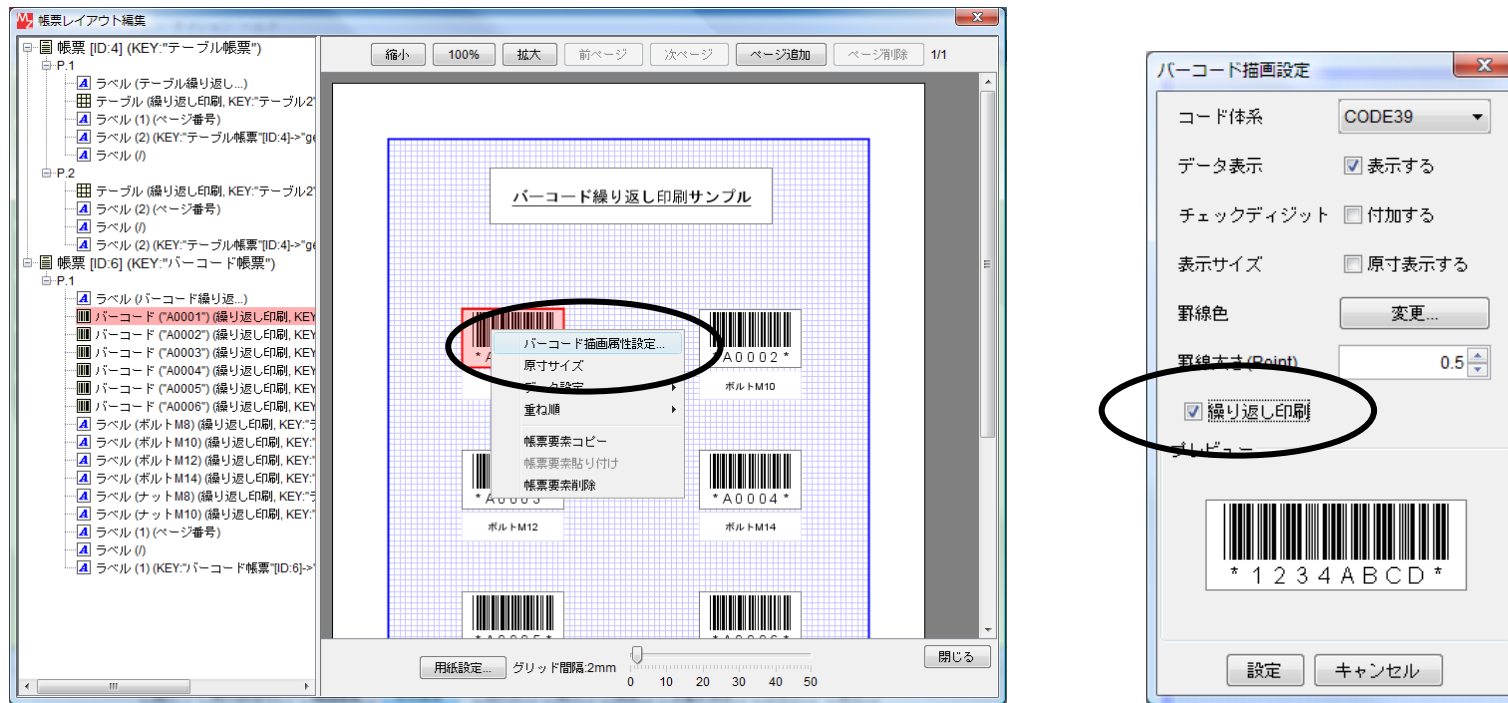


図 7 繰り返し印刷設定（バーコード要素 1）

また、図 8 の左図に示すように、バーコード要素上でマウス右クリックし[データ設定]-[データ取得設定...]を選択します。すると図 8 の右図に示すように、データ設定ダイアログが表示されますので、データ取得コンポーネント、メソッド、および、データを取得するテーブルの列番号を設定してください。このように設定された 1 つの帳票内のすべてのバーコード要素は同一のテーブルデータを参照することになります。ラベル要素の繰り返し印刷設定もバーコード要素の場合と同様に設定します。

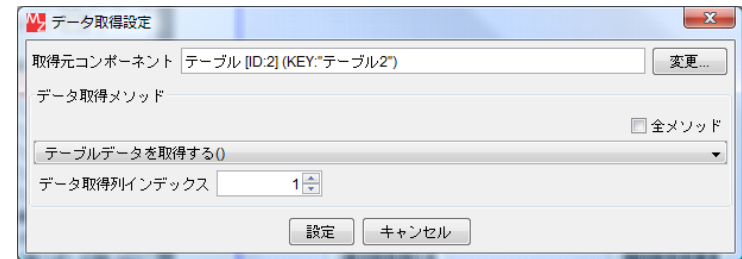
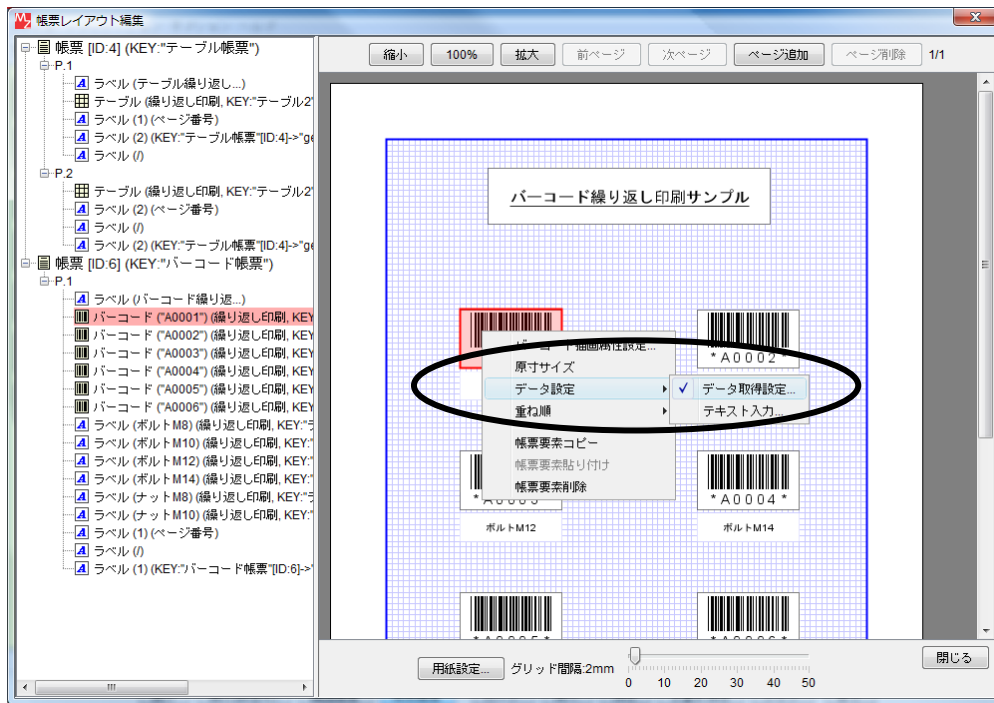


図 8 繰り返し印刷設定 (バーコード要素 2)